

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和2年6月18日(2020.6.18)

【公開番号】特開2019-24349(P2019-24349A)

【公開日】平成31年2月21日(2019.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2019-007

【出願番号】特願2017-144762(P2017-144762)

【国際特許分類】

C 1 2 N 11/087 (2020.01)

C 1 2 N 5/00 (2006.01)

C 1 2 M 3/04 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 11/08 C

C 1 2 N 5/00

C 1 2 M 3/04 Z

【手続補正書】

【提出日】令和2年4月20日(2020.4.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

刺激応答性ポリマーを含む刺激応答性層からの細胞シートの剥離性を調整する方法であって、前記刺激応答性ポリマーの量を減少させる工程を含む、方法。

【請求項2】

前記工程が、前記刺激応答性層に紫外線処理を施す工程である、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記工程が、前記刺激応答性層に超音波処理を施す工程である、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記刺激応答性ポリマーが、下限臨界溶液温度を有する温度応答性ポリマーである、請求項1～3のいずれか1項に記載の方法。

【請求項5】

前記刺激応答性層の厚さが、0nm超100nm以下である、請求項1～4のいずれか1項に記載の方法。

【請求項6】

前記刺激応答性層が、基材上に形成されている、請求項1～5のいずれか1項に記載の方法。

【請求項7】

請求項1～6のいずれか1項に記載の方法により剥離性が調整された刺激応答性層上で細胞を培養して細胞シートを形成する工程を含む、細胞シートの製造方法。

【請求項8】

さらに、前記刺激応答性層に刺激を与えて前記細胞シートを剥がす工程、を含む、請求項7に記載の細胞シートの製造方法。

【請求項9】

細胞シートを形成するための細胞培養容器の製造方法であって、  
刺激応答性ポリマーを含む刺激応答性層を形成する層形成工程と、  
前記刺激応答性層中の前記刺激応答性ポリマーの量を減少させる剥離性調整工程と、  
を含む、細胞培養容器の製造方法。